



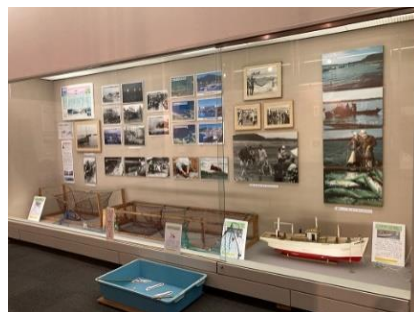
企画展「くらしのうつりかわりと道具」展示品紹介②

ハネゴでイカ釣りゲームに挑戦！

漁業コーナーでは、泊湊の歴史年表や船の模型のほか、泊の丸木舟、新納屋の地曳網漁、尾駮ニシン漁などの写真を展示しています。

ハネゴは江戸時代から使われていて、イカが海面に浮き上がっている時に針に引っかけて釣る道具です。通常は1本、上手な人は2本のハネゴを使いました。ハネゴの針は、ふだん柄の二股のところにある穴にさしこんでしまっておきました。

企画展では、おもちゃのハネゴを使ったイカ釣りゲームコーナーを設置しています。ぜひ、ご家族一緒に遊びに来てください！



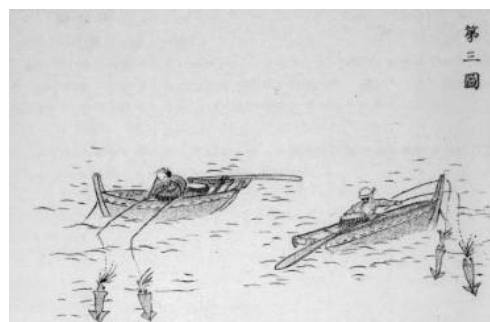
漁業コーナーの様子



一本竿ハネゴ



二本竿ハネゴと針を入れる箱



江戸時代のハネゴによるイカ漁の様子
(青森県漁具史より引用)

ハネゴは昭和20年代半ば頃まで使われました。本格的な集魚灯が使用されるようになると、明るすぎてハネゴにイカがかからなくなったそうです。

おもちゃの一本竿 ハネゴでイカ釣り ゲーム

お子様でもより楽しく、
より安全に遊べるように
改良しました！



イカにねらいを定めます



釣れました！